

本時のねらい

Tさんが防災意識を高めようとする理由について、〈1人でも多くの命を守りたい〉〈自分の命は自分で守ってほしい〉〈Tさんたちの仕事を手伝ってほしい〉などの立場で既習事項を基に考えづくりシートで交流したり、ハザードマップやTさんのお話と自分たちの考えを関連づけたりすることを通して、自助の重要性について考え適切に表現することができるようにする。

評価規準

Tさんが防災意識を高めようとする理由を話し合い、自助の重要性を考え表現している。

具体的な児童の姿

「私たちも地震や津波について真剣に備え、行動できるようにならなければ自分や周りの人の命は守れない。」「Tさんたちに任せきりではなく、自分たちでできることを考えていかなければならない。」等、振り返りで記述している姿。

時間	児童の活動	指導〇及び留意点・ ◎評価〈方法〉 ※支援を要する児童への手立て	準備物
----	-------	-------------------------------------	-----

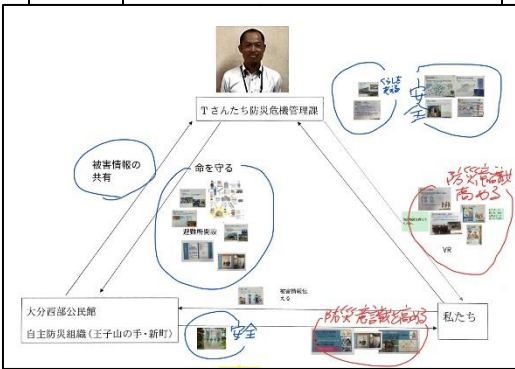
3分

1. 学習問題を確認し、本時の課題を立てる。

○学習問題と前時の振り返りや関係図を見直し、本時の課題を立てさせる。

- ・これまでの学習内容について掲示資料を基に振り返っていく。
- ・前時の板書をTVに提示し、Tさんたち防災危機管理課の人々は、様々な機関と連携をしたり多くの備えをしたり防災意識を高めたりしていることを再認識させる。
- ・「地震や津波に対してもう十分取り組んでいるよね」と問い返し、防災意識をさらに高めていく必要性に着目させる。

準備物



課題

Tさんたち防災危機管理課の人々は地震や津波に対して協力体制をつくったり十分な備えをしたりしているのに、なぜ防災意識を高めたいのか？

12分

2. 課題に対する自分の考えを持つ。


○課題に対する自分の考えを持たせる。

- ・〈1人でも多くの命を守りたい〉〈自分の命は自分で守ってほしい〉〈Tさんたちの仕事を手伝ってほしい〉などの立場で、自分の考えを持たせるようにする。
- ・考えづくりシートで、資料を基にした根拠のある考えを持たせるようにする。

ロイロノート
考えづくりシート



- ※考えが持てない児童には、友達の考えづくりシートを参考にしてよいことを伝え、見通しを持たせる。
- ・考えづくりシートを教師に提出させる。

20分	3. 課題に対する考えを交流する。	<ul style="list-style-type: none"> ・考えづくりシートを用いて、ペアで自分の考えを伝え合わせる。 ◎考え作りシートで根拠を明らかにしながらTさんたち防災危機管理課の人たちが防災意識を高めようとする理由を考えている。〈記述分析〉 ○課題に対する考えを交流させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・提出させた考えづくりシートを使って発表させる。 ・教師は全員のシートを回答共有し、児童が自分の考えと比較して考えられるようにする。 	
			
			
7分	4. Tさんの話を聞き、本時のまとめを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○Tさんの話を聞き、まとめと振り返りを行わせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・児童の話し合いから感じたことや、非常時の公助・共助・自助の働きの比重について話してもらおう。 ・本時のまとめをノートに書かせ、発表させる。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ Tさんたちは、地震や津波が実際に起きたら公助の力だけでは多くの人の命や暮らしを守れないので、自分や周りの人の命は自分自身の備えや行動（自助）、周りの人との協力（共助）が重要だということから、防災意識を高め安心を築こうとしている。</p> </div>			
3分	5. 本時の振り返りを書く。	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の振り返りをノートに記述し、写真にとらせ、ロイロノートで提出させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・本時の振り返りを発表させる。 ◎Tさんが防災意識を高めようとする理由を話し合い、自助の重要性について考え適切に表現している。〈発言分析・記述分析〉 	

一人一台端末の使用は効果的であったか

- 考えづくりシートで資料を根拠にして自分の考えをもたせることは効果的だった。
- 共有機能で友達の考えづくりシートを見ることができるようになることは、活動の進んでいない児童への支援になった。
- 教師の手立てとして、ハザードマップのICT化は、非常時に公助も被災する可能性を感じとらせるのに効果的だった。
- ▲共有機能で友達の活動の様子を参考にしても考えづくりシートに考えをまとめられない児童への支援や書き始めとして立場や結論を明確にする枠の設定が、今後の課題である。